



編集 SEF事務局
 連絡先 03-3358-4434
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「9月の出来事」

理事長 村瀬禎男

もう10月になり、SEFの運営も第8期後期に入りました。直前の9月の大きな出来事は民主党による自民党からの政権交代が実現したことと、イチロー選手が9年連続の200本安打を記録したことでしょう。新政権発足の前日、9月15日にマスコミに取り囲まれて閣僚人事などの質問攻めに鳩山首相が「それよりも今はイチロー選手でしょう」と云うような答えをしていました。一国の政治上の大きなテーマより野球選手の記録の方が大事なのかと感じましたが、その本意はイチロー選手の並外れた集中力とたゆまぬ努力を評価したもので、同じように努力したいという事でした。新政権が政権奪取に浮かれ、ポピュリズムに流されることなく経済・外交・安保を含め国家・国民にとって真に適正な道筋を取るべく真摯に考え、努力してまともな政策を実現し、国家衰退の道を選ばぬようにしてくれるよう望んでいます。

理事会実施報告

< 8月度 (8/26) 第79回 >	< 9月度 (9/16) 第80回 >
1. 運用規定改定 / 一部修正の上、原案を承認 2. 会員種類と資格の見直し / 準会員に関し原案承認 3. 下記業務受託に関する審議 / 一部修正の上承認 ばんどうエコ燃料店 日鉄エレックス 住重環境エンジニアリング 4. 神奈川県電子入札(工州業)登録申請 / 報告・確認 9/7 公式受付 10/1 認定見込み 5. 事業成行報告(各事業部会)	1. 第18回会員連絡会開催要領 / 審議・決定 2. 年間スケジュール表 / 報告 HPに掲載決定 3. HP改訂 / 討議 各理事が関連事項を見直す 4. NPO 保険の継続更新 / 報告 更新内容を承 5. 事業成行報告(各事業部会)

事業報告 「韓国化学プラントのコンサルティング」

担当役員 佐立理事

国内プラントメーカーから韓国の既存化学プラントの技術指導、助言及び報告を行う技術コンサルティング業務を委託されました。コンサル業務の内容は 既存プロセスの検討および改善 工程の最適化 Utility (原単位) の最小化 生産規模の拡大および機器の改良又は改造 品質および製品包装の検討 応用市場への製品の創出 安全・安定運転方法の検討および改善、など多岐にわたっております。この分野での経験豊富な尾崎肇会員が担当となり、既に8月・9月と2回、韓国に行き、コンサル業務を実施しております。今後は来年1月まで合計6回にわたり訪韓し、コンサル業務を実施していきます。SEF会員の持てるスキルが活用出来た好例として、今後の事業に生かして行きたいと考えます。

SEFサロン 第52回報告 (09/08/26)

担当 福永会員

講師：福永喜朋氏(正会員) 演題：「太陽光発電について」

太陽光発電 (PV) は、風力やバイオ発電と較べて汎用的エネルギーとして注目されている。導入価格は高いが、昼間のピーク需要を緩和し、温室効果ガス排出量を削減できる。近年性能が向上し、設備や保守が容易となり、低炭素志向社会の成長産業として需要が増大している。

しかし、更なる成長には政策支援が必要で、2009年11月に Feed in Tariff 法が施行される予定だが、24円/kw から 50円/kw に引き上げられるのみで買取り強制力はない。ドイツでは 80円/kw で購入し、20年間固定買取りを強制保証しており、10年で黒字転換した後、残り10年は純利益が得られるので、太陽光発電設備の設置が急増している。日本も民間設置者を重視すべきである。

また、地上型ソーラー・パネルは、夜間は日光を受けられず、天候による制約もあり、宇宙太陽光発電 (SPS) のような長期大規模安定型エネルギー開発が不可欠。米国は1968年に高度3,600 km に静止衛星を打ち上げ、計500万~1,000万 kw 発電プラントを設置し、マイクロ波またはレーザーで地上局に送り、電力に変換する計画を提言し検討中である。日本は、太陽光発電プラントに技術・生産革新を加えて各国に輸出し、世界に貢献すべきである。

9月度会員動向

正会員入会

白崎善宏さん (業務支援部会 推薦理事：村瀬)

9月末現在の会員数

正会員 35名 準会員 34名 賛助会員 3社